



2025 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 岩塚製菓株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 榎 大介
(コード番号 2221 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長
星野 忠彦
(TEL:0258-92-4111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

連結業績予想数値の修正

2026 年 3 月期第 2 四半期 (2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	14,000	250	2,600	1,750	168 円 20 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	13,580	150	2,100	1,500	145 円 50 銭
増 減 額 (B - A)	△420	△100	△500	△250	
増 減 率 (%)	△3.0	△40.0	△19.2	△14.3	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	11,614	290	3,359	2,369	227 円 80 銭

2026 年 3 月期通期 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	29,000	300	2,700	1,800	173 円 00 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	29,000	300	2,200	1,600	155 円 20 銭
増 減 額 (B - A)	0	0	△500	△200	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	△18.5	△11.1	
(ご参考)前 期 実 績 (2 0 2 5 年 3 月 期)	24,954	815	3,964	2,909	279 円 63 銭

2. 修正理由

米菓業界では、年度当初は米菓自体の値頃感を背景に概ね好調に推移いたしましたが、人件費や物流費が増加傾向にあるなか、主原料の米を筆頭に原材料価格の上昇が顕著となり、コスト面において厳しさを増す環境となっております。

このような状況下において、当社では、主力商品（TOP6+2）に集中しシェア拡大を推し進めた結果、当連結会計年度第1四半期の売上高は、計画を上回る7,124百万円（前期比119.4%）と伸長、損益面では、原材料の高騰等を受け製造原価が上がり利幅が薄くなったものの、営業利益は293百万円と増益を保つことができました。

第2四半期に入ると、長引く猛暑により一時的に米菓需要の伸び悩みが見られましたが、認知度向上に努め主力商品に注力する営業施策が奏功し、当中間連結会計期間全体では売上高は前年を上回りました。しかし、主原料である米の大幅なコストアップ等を吸収するまでには至らず、損益的には後退を余儀なくされました。この結果、現時点における中間連結会計期間の業績は、売上高13,580百万円、営業利益150百万円となる見通しにあります。また、同期間の経常利益は、係る営業利益の修正に加え当社が保有しているWANT WANT CHINA HOLDINGS LIMITED.の期末配当金が当初見込みを下回ったことから、2,100百万円に予想額を修正、親会社株式に帰属する純利益は1,500百万円と見込んでおります。

今後、第3四半期以降については、第3四半期が米菓需要のトップシーズンとなるなか、プロモーション施策など主力商品の販売活動を一層強化徹底して売上高の確保を図るとともに、損益面では年度前半に実施した価格改定の効果や備蓄米の活用等から回復傾向を示せるものと考えております。このため通期の売上高および営業利益については、期初計画を据え置き達成に努めてまいります。また、通期の経常利益および親会社に帰属する当期純利益につきましては、半期の業績見込みを踏まえ、上記のとおり業績予想を修正いたします。

※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上